



いちよう



薩摩川内市立副田小学校
学校だより 8月号
薩摩川内市入来町副田 2030
TEL 0996-44-2928
FAX 0996-44-2931

わくわくいっぱい 笑顔の副田小 ～ わくわく(楽しい) 知恵がわく 力がわく 勇気がわく 夢や希望がわく ～

18歳意識調査から見えてくるもの

校長 川添 正和

夏休みも早いもので1か月がたちますが、子供たちの夏休み期間中の生活の様子はいかがでしょうか。子供たちの大きなけがや事故の連絡はなく、胸をなでおろしているところです。夏休みも残りあと10日ほど。残りの期間も子供たちが安全に過ごしてくれることを願っております。2学期前になると、宿題の進み具合や2学期スタートで学校への登校に不安を感じる子がいます。子供たちに心配なことがあれば遠慮なく学校に御相談ください。2学期のスタートを子供たち全員が笑顔で迎えられるようにしたいと思っています。

さて、夏休みに入って間もないころ、7月24日(火)に北薩地区小・中・義務教育学校校長研修会がありました。その中で北薩教育事務所長が、18歳意識調査のデータをもとに興味深い話をされました。この調査は日本財団がおこなっているものであり、今回紹介するのは、2024年に日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの若者各1000人(17～19歳)におこなった「第62回18歳意識調査」です。調査内容は「自分の国の重要な課題」「自分の国の将来について」「自分自身について」「自分の生活についての満足度」「自分と社会のかかわりについて」「人生において大切にしたいと思っていること」など多岐にわたり16の質問項目で調査されています。

「自分自身について」(項目を抜粋)

質問9: 自分自身について、以下の項目に同意しますか。(「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率(%))

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
自分のしていることには、目的や意味がある。	62.8	78.0	72.9	90.2	74.2	83.9
将来の夢を持っている。	60.1	84.7	82.0	88.2	73.5	88.4
自分は他者から必要とされている。	56.8	73.0	71.5	85.5	70.1	70.2
自分には人に誇れる個性がある。	53.5	81.1	75.4	84.8	65.6	83.9

「自身と社会の関わりについて1/2」(項目を抜粋)

質問11: 自身と社会の関わりについて、以下の項目に同意しますか。(「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率(%))

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
国や社会に役立つことをしたいと思う。	64.3	78.4	77.7	93.6	71.1	85.9
自分は責任ある社会の一員だと思う。	61.1	79.4	80.7	92.1	74.5	86.8
自分は大人だと思う。	49.6	76.6	75.8	90.0	54.8	81.7
自分の行動で国や社会を変えられると思う。	45.8	65.6	56.1	83.7	60.8	80.6

「人生において大切にしたいと思っていること」(1位から10位までの1位から3位までを紹介)

質問16: あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。3つまで選択してください。

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
1位	自身の好きなことややりたいこと・趣味	家族	家族	家族	家族	家族
2位	家族	心身の健康	友達	心身の健康	自身の好きなことややりたいこと・趣味	友達
3位	友達	友達	心身の健康	自身の好きなことややりたいこと・趣味	資産の形成	仕事・スキルアップ

質問への回答結果を見てみると気になることが浮かび上がってきます。質問9の結果から日本とは他国の回答率と比べると10ポイント以上の差があり、日本の若者は他国と比べて自己肯定感が低いことがうかがえます。また、質問11の結果から、「自身と社会の関わりについて」はすべての項目において70%を超えたものはなく、いずれも6か国中最も低い数値となっていました。特に「自分は大人だと思う」と「自分の行動で国や社会を変えられると思う」は50%を下回っています。質問16では、人生において大切にしたいと思っていることを他国は「家族」を1位にしているのに対し、日本は「自身の好きなことややりたいこと・趣味」を多くの若者が選択しているという結果でした。

これらの結果から、日本の若者は自分に自信を持っていないこと、自分は大人であり社会の一員であるという意識が低いこと、自分に自信を持っていないことで社会とのかかわりが弱くなっていること見えてきます。自分が大人だと思っていないことは、人生において大切にしたいことにおいて「自身の好きなことややりたいこと・趣味」が「家族」より上回っていることからもうかがえます。

民法の改正に伴い2022年の4月には成人年齢が18歳となりました。しかし、実際の日本の18歳の若者の意識は、自分に自信がなく大人だという自覚が低く、社会への関わり意識が薄いことがわかりました。今後、学校、家庭、地域での子供への関わりを改めて振り返り、頑張れば乗り越えられる課題を克服させながら子供たちの自尊感情を高め、地域行事への参加をとおして地域社会への関わりを強く感じさせながら、自分は少しずつ大人に向かっていくんだという自信をつけさせていくことが重要であると思います。

1 学期学校評価 (保護者の方々の御意見です)

提出率78.3%

	項目	R6 3学期	R7 1学期	増減
やさしい子	1 基本的な生活習慣や態度の育成 (副田小のきまり、一時徹底)	3.2	3.4	↑
	2 思いやりの心を持ち、誰にでも親切にできる子の育成	3.5	3.5	
	3 体験的活動や地域との連携を深めた教育活動の充実	3.4	3.5	
	4 道徳性の高揚、いじめの解決、不登校の防止	3.2	3.4	↑
	5 親子の絆がより強くなる場としての家庭づくり	3.2	3.1	
	6 家庭や地域の一員としての自覚の高揚	3.2	3.1	
かしこい子	7 学習規範・学習の心構えの定着	3.3	3.3	
	8 分かる授業・できる授業の展開と表現力の育成	3.2	3.5	↑
	9 基礎学力の定着	3.4	3.5	
	10 読書環境の整備と読書指導の充実	3.4	3.5	
	11 家庭学習・音読・読書の習慣化	2.8	3.0	↑
	12 登校前の声かけや見届け	3.4	3.2	↓
たくましい子	13 運動の特性をおさえた体力づくりの推進	3.4	3.3	
	14 運動の好きな子供の育成	3.6	3.4	↓
	15 健康教育の充実	3.5	3.5	
	16 安全教育の充実	3.4	3.5	
	17 規則正しい生活のしつけ	3.0	3.0	
	18 健康・安全な生活、ルールを学ぶ場としての家庭づくり	3.3	3.3	
開かれた学校づくり	19 教育活動の広報	3.7	3.6	
	20 保護者や地域、関係機関との連携を図り、学習活動の充実を図る	3.4	3.6	↑
	21 美しく落ち着いた学校環境づくり	3.7	3.6	
	22 落ち着いて学習する教室整備や安全に過ごせる環境の整備	3.4	3.5	

○ 本校は、令和五年度から「生徒指導の実践上の4視点を意識した授業」、「学習者主体の授業」の実践に向けて取組を行ってきました。日々試行錯誤を繰り返しながら授業改善を目指して取り組んできたことが成果として表れていることを感じ取られているようです。(項目四・八より)

○ 入来中学校区の取組として「始業一分前黙想」があります。子供たちが落ち着いた雰囲気の中で授業を始められています。また、生活リズムムチエックカードや家読カードの取組等を通して、家庭学習や読書に進んで取り組む姿が見られるようになってきたようです。(項目一と十一と二十より)

△「家庭での声掛けや見届けが十分でない」という保護者の意見が出されました。子供の健やかな成長のためには、家庭の協力なしでは達成されません。保護者との連携を密にしながらこの数値の改善に努めてまいります。(項目十二より)

【9月の主な学校行事予定】

- 1日(月)2学期始業式
- 2日(火)第2回PTA理事会
- 5日(金)学級PTA
- 6日(土)PTA親子レクリエーション
- 11日(木)甌アイランドウォッチング(4年)
- 17日(火)小中一貫合同研修会
(児童は「給食あり、4時間授業」)
- 25日(木)スクールカウンセラー来校

【お知らせ】

- 6日(土)に副田小学校 PTA 親子レクリエーション(交通安全教室→大そうめん流し→親子サッカー大会→宝さがし)が行われます(子供40名、保護者34名の参加予定)。9:30受付、10:00スタートです。
- 10日(水)は、全学年4時間授業です(13:20下校予定です)。
- 17日(水)は、入来中学校で研修会があるため、全学年4時間授業です(13:00下校予定)。

副田小わくわく広場 フォトニュース

終業式(7月18日)

終業式の話の中で「(自分の命を大切に)死なないこと」という約束をし、44日間の長い夏休みがスタートしました。日頃できないことにチャレンジをして、残りの夏休みも充実した日々を過ごしてほしいと思います。



「歯と口の健康週間」で銀賞を受賞した上堀さん



人権の花のひまわりがすくすく育って、登校してくる子供たちを「笑顔で」迎えてくれます。副田の子もひまわりのように大きく育ってくださいね!